

【スランプ保持剤(遅延タイプ)】

ヤマソー 2020R

ヤマソー2020R は、ベースコンクリートの初期スランプや空気量等にほとんど影響を及ぼすことなく、現場までの運搬や現場内運搬(圧送等)におけるスランプおよびスランプフローの保持性能を大幅に向上させることができます。また、凝結遅延性を有しており、酷暑期においてもコンクリートの流動性が確保でき、充填不良やコールドジョイントの発生を抑制することができるスランプ保持剤です。

ヤマソー2020R は土木学会「暑中環境下におけるコンクリートのスランプの経時変化・凝結特性に関する混和剤の試験方法(案)」(JSCE-D504)に準拠して試験を行い、コンクリート標準示方書に示される混和剤に求められる基準を満足することを確認しています。

特長

1. 使用量を増減させることにより、コンクリートのスランプ保持性能を任意にコントロールすることができます。
2. コンクリート標準示方書「35℃を超える暑中コンクリート」の混和剤に求める基準を満足します。
3. 酷暑期におけるコンクリートのスランプロスを低減することができます。
4. 凝結遅延性を有しており、充填不良やコールドジョイントの発生を抑制することができます。
5. 塩化物を含まない、無塩化タイプのスランプ保持剤です。

主成分、物性および使用方法

主成分	外観	密度の範囲 (g/cm ³ 、20℃)	使用量の範囲 (C×%)	塩化物イオン (Cl ⁻)量※(%)	全アルカリ量※ (%)
ポリカルボン酸系化合物	褐色液体	1.07~1.15	0.05~0.35	0.01 【0.00kg/m ³ 】	0.1 【0.00kg/m ³ 】

※ 塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例であり、【 】は C=300kg/m³、使用量 C×0.3%の場合に 1m³に導入される量です。

- ・ ヤマソー2020R は、工場にてコンクリートを練り混ぜる際に添加、又は工事現場等においてトラックアジテータ内のベースコンクリートに添加※して使用して下さい。
- ※ 参考:トラックアジテータ内のベースコンクリートに添加する場合は、セメントの質量の0.5%程度以下であればコンクリートの練上がり体積には考慮しなくてもよいと考えます。
(コンクリート標準示方書[施工編:35℃を超える暑中コンクリート])

使用量の目安

コンクリート温度	25℃	30℃	35℃以上
使用量	C×0.15%	C×0.20%	C×0.30%

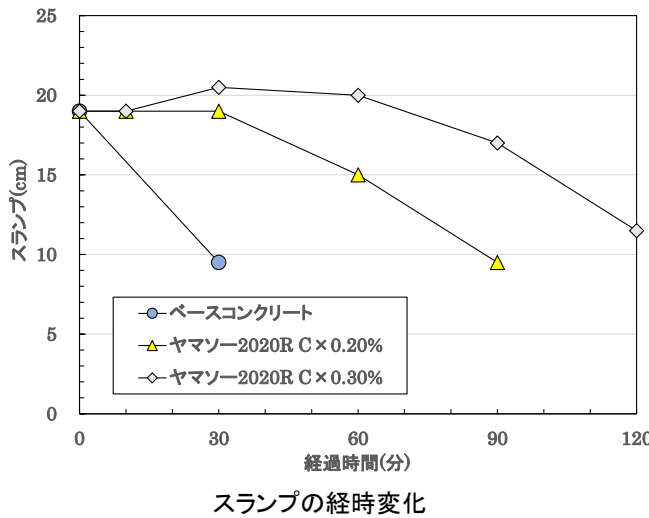
- ・ 使用量の目安は、各コンクリート温度において、ベースコンクリートから凝結時間が2時間程度遅延する量として設定した。
- ・ ベースコンクリートの性状により使用量が異なりますので、目安を元に試し練り(実機又は室内試験)にて性状を確認し、実際に使用する量を決めて下さい。

試験結果(例)【JSCE-D504 準拠】

試験項目	スランブ(cm)			空気量(%)			所定の貫入抵抗値になる時間	
	0分	10分後 ^{※3}	60分後	0分	10分後 ^{※3}	60分後	0.1N/mm ²	3.5N/mm ²
ベースコンクリート ^{※1}	16.0	—	—	4.7	—	—	—	—
ヤマソー2020R ^{※2}	—	15.5	16.5	—	4.9	4.5	3.7時間	7.1時間
スランブ低下量および空気量の変化量	—	—	-0.5	—	—	0.2	—	—
基準値	—	—	6以内	—	—	±1.5	3.5時間以上	12時間以内

※1 ベースコンクリートは AE 減水剤遅延形 C×1.2%使用
 ※2 ヤマソー2020R 使用量 C×0.35%
 ※3 ヤマソー2020R は練上がりから 10 分後ベースコンクリートに添加
 ※4 コンクリート温度は 36±2℃

試験結果(例)



【試験条件】
 ・環境温度 30℃(室内)
 ・普通ポルトランドセメント

【ベースコンクリート】
 ・W/C=50.0%
 ・W=170kg/m³
 ・C=340kg/m³
 ・AE 減水剤遅延形 使用量 C×1.2%

※ヤマソー2020R は、練上がりから 10 分後ベースコンクリートに添加

使用上および取扱い上の注意

1. コンクリートの性状は、使用材料、配(調)合、温度などの条件により変わる場合がありますので、あらかじめ試し練り(実機又は室内試験)にて確認して下さい。
2. トラックアジテータ内のベースコンクリートに添加する際は、配(調)合、積載量によりかくはん時間が異なる場合がございますのであらかじめ確認が必要です。不十分な場合、経過時間後のスランブにバラツキが生じる場合がございます。
3. 使用量の範囲を超えて使用する場合は、当社営業担当者に別途ご相談下さい。
4. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、保管・使用して下さい。
5. 凍結した場合には、ゆっくりと温めながら静かにかくはんし、融解して下さい。
6. 皮膚についた場合は、水と石鹼でよく洗い落として下さい。
7. 眼に入った場合は、直ちに清浄な水で十分に洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
8. 万一誤飲した場合には、水で口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
 詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

荷姿

18kg 缶

●ここに記載された事項は、細心の注意を払って行なった弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。従って、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。



本社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1341
東京営業部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1261
大阪支店	〒530-0041	大阪市北区天神橋3丁目3番3号	☎06(6353)6051
福岡支店	〒812-0008	福岡市博多区東光2丁目6番6号	☎092(483)8567
札幌支店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢1条2丁目3番45号	☎011(662)5552
広島営業所	〒733-0005	広島市西区三滝町14番4号	☎082(237)3083
仙台営業所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町3丁目9番27号	☎022(224)0321
北陸営業所	〒910-0001	福井市大願寺2丁目9番1号 福井開発ビル403	☎0776(28)2566
平塚事務所	〒254-0016	平塚市東八幡3丁目6番22号	☎0463(23)5536
静岡出張所	〒422-8032	静岡市駿河区有東2丁目5番21号 テアヒア静岡101	☎054(202)5111
高松出張所	〒760-0075	高松市楠上町1丁目5番15号 リビエール楠上103	☎087(863)7565